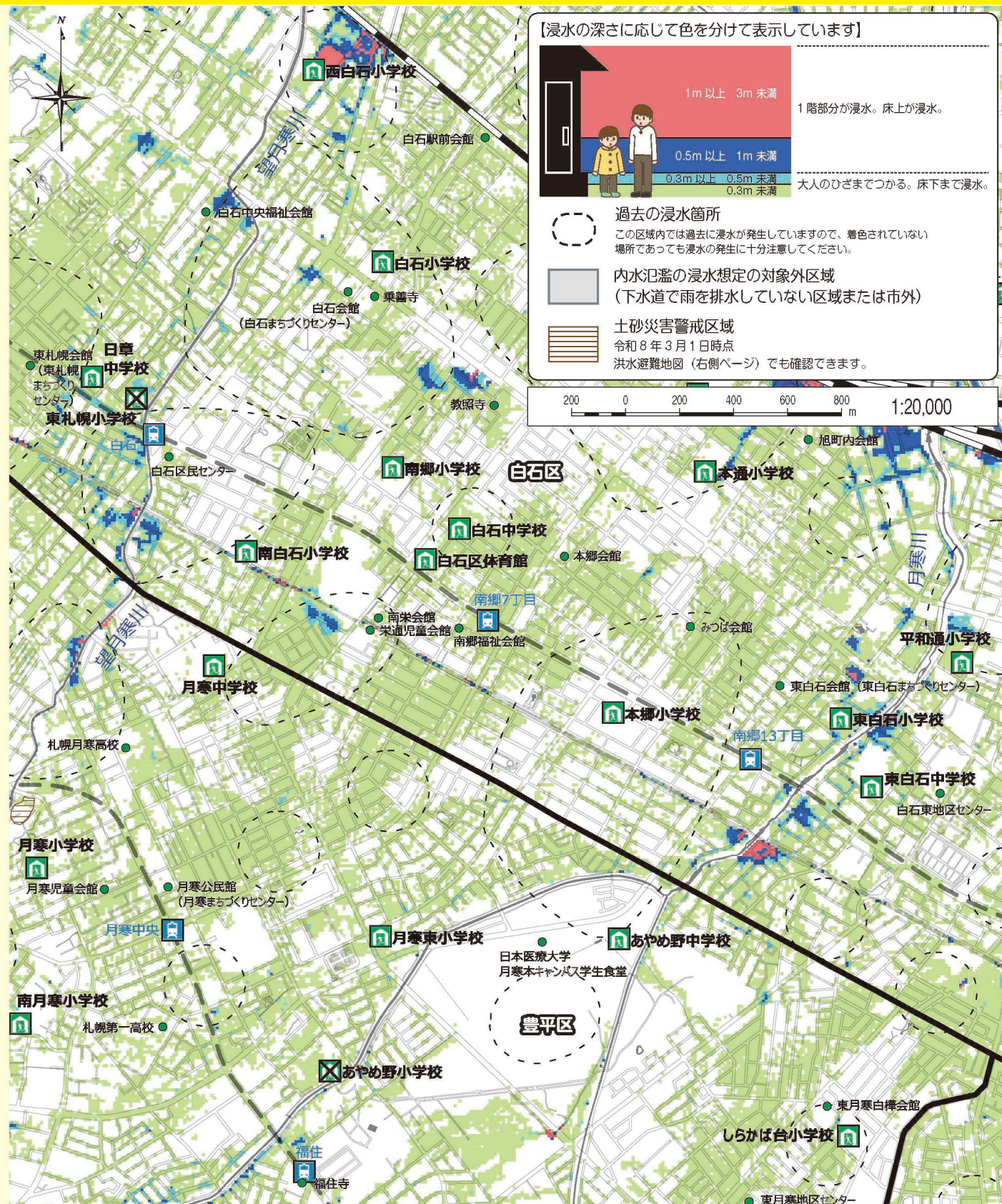


2 避難地図 拡大図

内水氾濫避難地図 豊平区②

▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】

1m以上 3m未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m以上 1m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。
0.3m以上 0.5m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。

過去の浸水箇所
この区域内では過去に浸水が発生していますので、着色されていない場所であっても浸水の発生に十分注意してください。

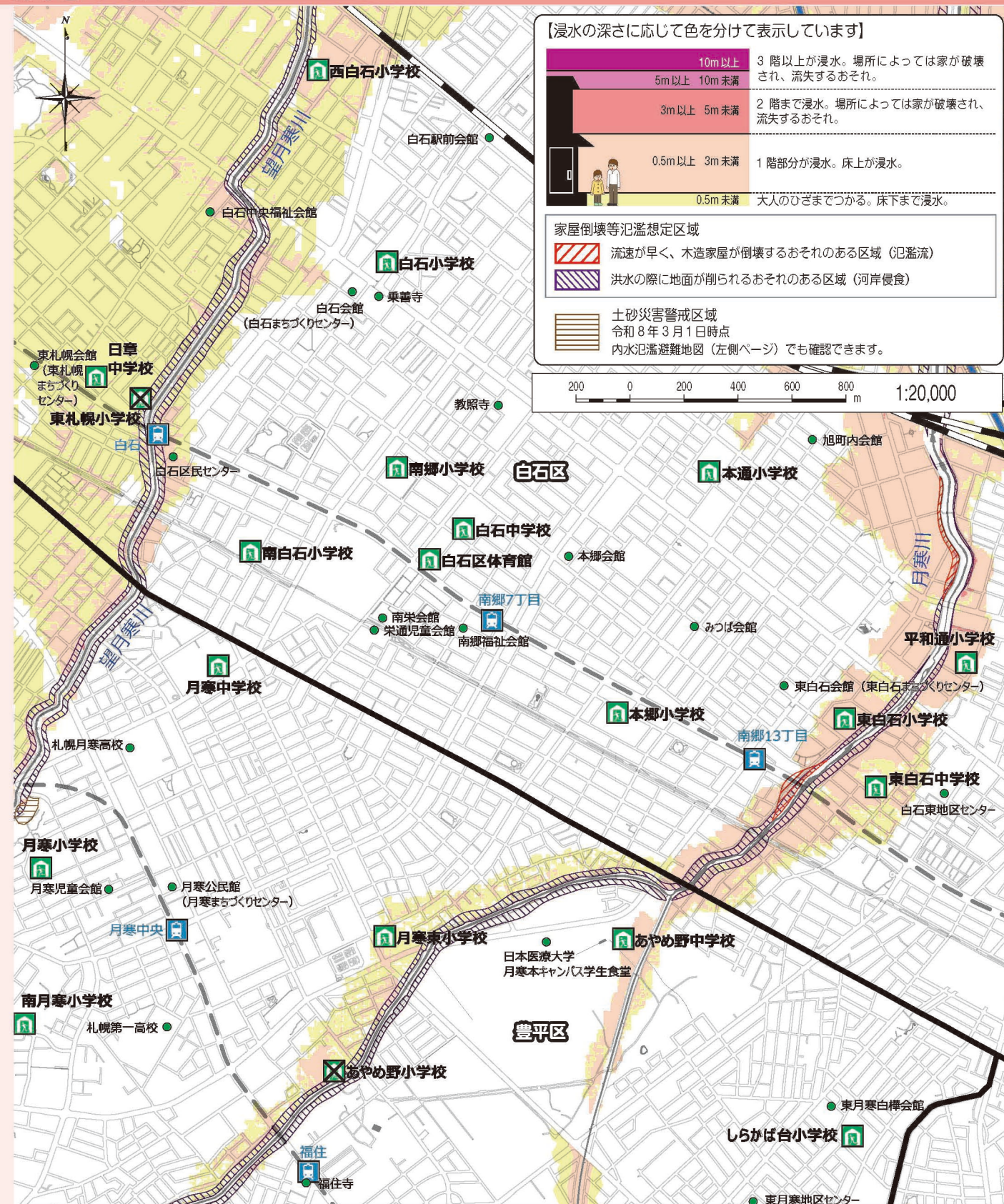
内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)

土砂災害警戒区域
令和8年3月1日時点
洪水避難地図(右側ページ)でも確認できます。

200 0 200 400 600 800 m 1:20,000

洪水避難地図 豊平区②

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定



【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】

10m以上	3階以上が浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
5m以上 10m未満	2階まで浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
3m以上 5m未満	2階まで浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
0.5m以上 3m未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。

家屋倒壊等氾濫想定区域
 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域(氾濫流)
 洪水の際に地面が削られるおそれのある区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域
令和8年3月1日時点
内水氾濫避難地図(左側ページ)でも確認できます。

200 0 200 400 600 800 m 1:20,000

凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などを指定避難所(基幹)を兼ねています。 ▶ 〓 は洪水・土砂災害時に使用できません。
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (主要なもの)	高速道路	指定避難所(地域) ▶ 指定避難所(基幹)を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

【避難地図の使い方】

- ① 自宅 などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所 を確認し、○をつけましょう。
▶ 避難場所一覧はP17をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶ できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。